

V. 計画推進の考え方

市民の皆様とともに、実行計画・プログラムを立案します。

『明石のみちビジョン』では、これからの明石市における道路整備の理念から基本方針・施策の展開方針までを整理しています。

今後は、このビジョンを市民の皆様にお示しし、地域の皆様と対話の取り組みを行うことにより、各基本方針に沿った個別の事業立案を行っていきます。



明石市全域にわたる施策のうち、

- ・ 自転車ネットワーク計画等については、住民代表やユーザー、関係行政機関等からなる協議会のもと策定に取り組み、実施を図ります。
- ・ 幹線街路整備の優先順位については、都市計画道路^{*})の見直しを踏まえ、費用対効果を再検証し、内容を市民に示すとともに、客観性、透明性を確保したうえで優先順位付けします。

また、通学路整備などの交通安全対策や、ユニバーサルな道路空間の整備等、全市にまたがるものの、各地域の状況や特性に応じて検討する必要のあるものは、ワークショップ^{*})の開催など地域との対話の取り組みを通し、実施に取り組んでいきます。

生活道路の整備など主に地域の要望に基づき実施する施策については、全市的な視点からその必要性を検証の上、不可欠性、緊急性等も考慮しながら、地域における合意形成や熟度の高まりを勘案し取り組んでいきます。

道路施設のメンテナンス計画や長寿命化計画など、市が主体となり道路管理者の責務として取り組む施策について、既に一部は策定済みであるものの、未策定の実行計画については早急に取りまとめ、市民に公表するとともに、着実な実施を図ります。

社会情勢の変化に対応して、計画及び事業を随時見直して改善していきます。
(PDCA、フィードバック)。

みちをとりまく社会潮流や地域情勢は常に変化しており、これからも変化していくと考えられます。これらの変化に対応し、事業効果を確認しながら、計画及び個別事業を定期的に見直して改善していきます。

そのためには、「計画 (Plan)」「実行 (Do)」「検証・評価 (Check)」「見直し (Action)」のPDCAサイクルによって、本市の実情に即した実効性の高い計画や事業に改善していくことが重要です。

個別事業については、PDCAサイクルの考えに基づき、事前、事後の客観的評価を行い、評価結果を事業計画にフィードバックし、住民の皆様にも理解していただいた上で、事業を見直し、改善していきます。このサイクルを繰り返しながら、10年後、中長期のめざすべき道の姿を実現していきます。

＜「明石のみちビジョン」のPDCAサイクル＞

